

## 「評価委員会の個別評価」によるものとして応募する場合

### 「別添様式」の記入例&作成要領

- 高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）の応募に際し、「評価委員会の個別評価によるもの」として応募する場合、『別添様式』の提出が必要となります。
- 本資料は『別添様式』の記入にあたっての留意点、記入例を示したものです。

「別添様式」は、建設が見込まれる住宅の『断熱地域区分』ごとに必要です。  
下記のとおり建設が見込まれる地域区分に合わせて、必要な地域の「別添様式」をそれぞれ作成し、提出してください。

#### 【建設予定の地域区分ごとに必要となる別添様式】

- （例1） 6地域のみで建設予定： 1種類（6地域）の評価結果
- （例2） 5，6地域で建設予定： 2種類（5地域、6地域）の評価結果
- （例3） 1～7地域で建設予定： 7種類（1地域～7地域）の評価結果

本記入例では、「別添様式」の6地域を例にした場合の記入例を掲載しています。

## ■評価委員会の個別評価によるものとして応募する場合の追加提出資料

個別評価によるものとして応募する場合、グループ公募に必要な書類に加えて、「別添様式」に関する書類提出が必要となります。また、「別添様式」について、下記の内容をご確認の上、採用技術に応じて必要な資料を提出してください。

別添様式 1	タイプ別ゼロ・エネルギー評価書	⇒全ての場合に提出が必要
別添様式 2	一次エネルギー消費量の評価書	⇒全ての場合に提出が必要
添付資料 1	平成28年省エネ基準・一次エネルギー消費量計算結果	
添付資料 2	外皮性能の計算結果	
添付資料 3-1 添付資料 3-2 添付資料 3-3	住宅概要に係る設計図書 (平面図、断面図、立面図)	
添付資料 4-1	エネルギー消費削減量の計算書 (空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合)	⇒空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合に添付資料 4-1、添付資料 4-2 (該当する早見表) を添付
添付資料 4-2	早見表 (空気集熱式太陽熱利用システム)	
別添様式 3	導入する省エネ手法の内容	⇒全ての場合に提出が必要

注 1) 評価委員会が認める住宅として申請する場合は、別添様式 3 に取り組みの詳細を記載して必ず提出してください。

注 2) 添付資料 1 は、計算の過程で使用した一次エネルギー消費量の計算結果として「平成 28 年省エネ基準 WEB プログラム (国立研究開発法人 建築研究所ホームページで公開)」を使用して計算を行った結果 (様式出力「建築物エネルギー性能基準 [H28 年 4 月以降] (PDF)」) を添付してください。なお、住宅名称部分や欄外等に、それぞれの仕様と『タイプ名称 (または地域区分)』がわかるように明記してください。

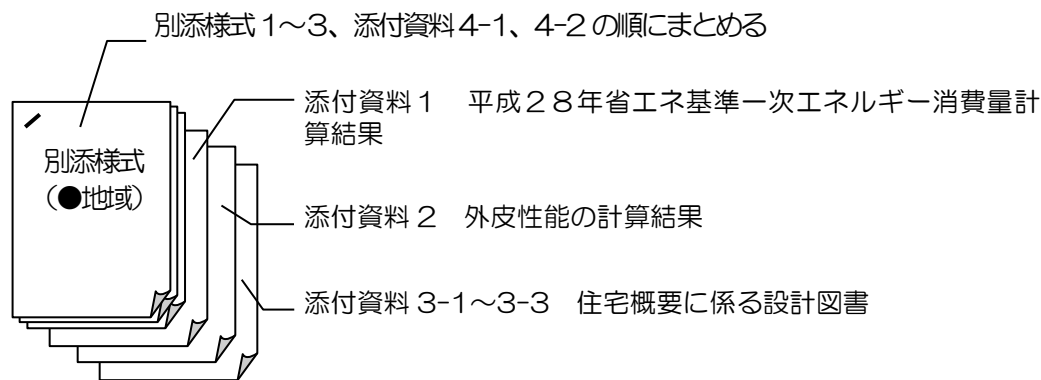
注 3) 添付資料 2 は、外皮性能の計算結果として、「住宅・住戸の外皮性能計算プログラム」(国立研究開発法人建築研究所ホームページで公開)、「住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量計算書」(一般社団法人 住宅性能評価・表示協会ホームページで公開) 等を使用して計算を行った結果を添付してください。

注 4) 添付資料 3-1 の平面図は、「主たる居室」、「その他の居室」、「非居室」がわかるように色分けし、それぞれの床面積を記載してください。また、添付資料 3-2 の断面図および添付資料 3-3 の立面図は、熱的境界部位がわかるように色付けし、外皮性能の計算に使用した外皮面積を記載してください。

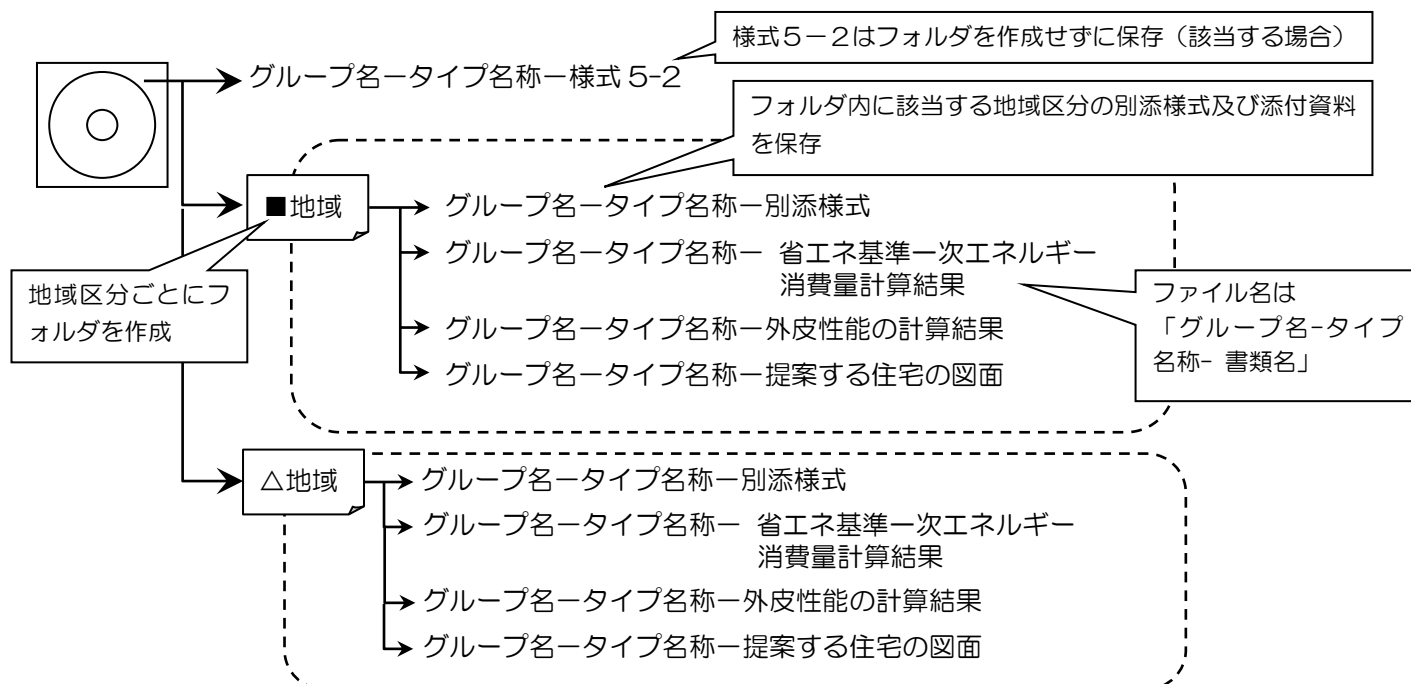
## ■別添様式等の応募書類、応募書類データ（電子ファイル）の提出方法について

高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）の「別添様式」に関わる応募書類、電子ファイルは、下記の例にならってまとめてください。また、CD-Rへ保存する応募書類データは、ファイル名を「グループ名-タイプ名称-書類名」として「別添様式」を保存してください。なお、「別添様式」は地域区分ごとにフォルダにまとめてください。

### 【別添様式のまとめ方】



### 【CD-Rへの応募書類データの保存方法（提案が2種類の地域の場合）】



※応募書類のデータは、審査の際の問合せ等で使用する場合がありますので、提出するものとは別に、必ず各自で保存してください。

※「様式 5-2」及び「別添様式」の電子データを CD-R へ保存する際は、必ずダウンロードした excel 形式のままコピーしてください。(PDF 等他の保存形式には絶対にしないでください。)

必須

住宅版 BELS 認証を取得する場合は、別添様式の提出は必要ありません

(別添様式1)

タイプ別ゼロ・エネルギー評価書(評価委員会が認めるものとして申請する場合)

グループ名	○○○○○		
地域区分	6	タイプ名称	○○●●

様式5-1に記載のタイプ名称と一致しているかを確認してください

1. 住宅の提案種別

- 1) 提案する住宅の基準一次エネルギー消費量が概ねゼロとなるもの
- 2) 評価委員会が認める住宅として申請する場合

※住宅版BELS認証を取得するものとして応募する場合は、「別添様式」の提出は必要ありません。

2. 提出書類

該当する口を■で選択し、必要資料が添付されているかを確認してください

※該当する口を■で選択し、必要資料が添付されていることを確認の上、提出してください。

評価委員会が認める住宅として申請する場合	
<input checked="" type="checkbox"/> 別添様式1	
<input checked="" type="checkbox"/> 別添様式2 (一次エネルギー消費量の評価書)	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料1 (H28省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果)	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料2 (外皮性能の計算結果)	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-1 住宅概要に係る設計図書(平面図)	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-2 住宅概要に係る設計図書(断面図)	
<input checked="" type="checkbox"/> 添付資料3-3 住宅概要に係る設計図書(立面図)	
<input type="checkbox"/> 添付資料4-1 エネルギー消費削減量の計算書 (空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合)	
<input type="checkbox"/> 添付資料4-2 早見表(空気集熱式太陽熱利用システム)	
<input checked="" type="checkbox"/> 別添様式3 (導入する省エネ手法の内容)	

空気集熱式太陽熱利用システムを早見表によって効果を計算する場合、「添付資料4-1、4-2」を添付してください

評価委員会が認める住宅として申請する場合は、別添様式3を必ず添付してください

必須

(別添様式2)

一次エネルギー消費量の評価書

1. 省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果

「平成28年度省エネ基準WEBプログラム」の計算結果を該当欄に転記

(1)タイプ名称	モデル〇〇				
(2)床面積	主たる居室	その他の居室	非居室	合計	
	29.81 m <sup>2</sup>	51.34 m <sup>2</sup>	38.93 m <sup>2</sup>	120.08 m <sup>2</sup>	
(3)省エネ地域区分 /年間日射地域区分	6	地域 / A	3	区分	
(4)住宅の一次エネルギー消費量 (1戸当り)	設計一次エネルギー消費量		基準一次エネルギー消費量		
暖房設備一次エネルギー消費量	10,809	MJ/(戸・年)	13,383	MJ/(戸・年)	
冷房設備一次エネルギー消費量	5,015	MJ/(戸・年)	5,634	MJ/(戸・年)	
換気設備一次エネルギー消費量	4,583	MJ/(戸・年)	4,542	MJ/(戸・年)	
給湯設備一次エネルギー消費量	14,372	MJ/(戸・年)	25,091	MJ/(戸・年)	
照明設備一次エネルギー消費量	5,674	MJ/(戸・年)	10,763	MJ/(戸・年)	
合計	40,453	MJ/(戸・年) ①	59,413	MJ/(戸・年) ②	
(5)太陽光発電 関連	太陽光発電等による削減量 (マイナス数値を入力)	-14,785	MJ/(戸・年) ③	様式3または添付資料 4-1に示す計算結果を 該当欄に転記 ※該当しない場合は 「0」を記載してく	
	発電量 (太陽光発電)	40,992	MJ/(戸・年) ④		
	売電量	26,206	MJ/(戸・年) ⑤		

2. その他の省エネルギー手法によるエネルギー削減量

※視測を様式3に記載してください。空気集熱式太陽熱利用の場合、添付資料4-1の計算結果を記載してください。

エネルギー消費削減量	0	MJ/(戸・年) ⑥
------------	---	------------

3. エネルギー削減量、エネルギー削減率の計算結果(ゼロ・エネルギーの評価)

※ピンク色の欄の数値を様式5-1に転記してください。

評価結果は 自動で計算 されます	集エネルギー消費量	59,413	MJ/(戸・年) ⑦ : ②
	エネルギー消費量(全体としての評価)	-538	MJ/(戸・年) ⑧ : ①+③-⑤-⑥
エネルギー 消費削減量	全体削減量	59,951	MJ/(戸・年) ⑨ : ⑦-⑧
	太陽光発電を除く削減量	18,959	MJ/(戸・年) ⑩ : ⑨-④
エネルギー 削減率	全体エネルギー削減率 (R)	100	% ⑪ : ⑨÷⑦×100
	太陽光発電を除く エネルギー削減率(R <sub>o</sub> )	31	% ⑫ : ⑩÷⑦×100

注1) グレー及びピンクの欄は自動で計算されますので、入力は不要です。

注2) 住宅版BELS認証を取得する場合、本様式の提出は不要です。

エネルギー削減率(R、R<sub>o</sub>)を様式5-1に記入して提出ください。

必須

(別添様式3)

導入する省エネ手法の内容【評価委員会が認める住宅として申請する場合】

**※評価委員会が認める住宅として申請する場合のみ提出してください。**

**※省エネ基準の一次エネルギー消費量の算定に反映されないもので、**

**提案する住宅に採用する技術の詳細と導入効果を記載して提出してください。**

タイプ名称	○○●●																								
<p>当該住宅における○○○○の詳細</p> <p>1)○○○○技術</p> <table border="0"><tr><td>①技術の詳細</td><td rowspan="5"><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div></td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>②導入効果</td><td></td></tr><tr><td>○○</td><td></td></tr><tr><td>○○</td><td></td></tr></table> <div style="border: 2px solid red; padding: 10px; margin: 10px 0;"><ul style="list-style-type: none"><li>・評価委員会が平成28年省エネ基準の計算によらず、同等以上の省エネ性能を有すると認められるかを審査できるように、取り組み内容の詳細、効果、実績等を具体的に記載してください。</li><li>・「2)評価委員会が認める住宅」として申請する場合も、省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を提出する必要があります。</li><li>・本記入例はサンプルです。適宜わかりやすいように記載いただいで結構です。</li></ul></div> <p>2)○○○○技術</p> <table border="0"><tr><td>①技術の詳細</td><td rowspan="5"><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div></td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>○○</td></tr><tr><td>②導入効果</td><td></td></tr><tr><td>○○</td><td></td></tr><tr><td>○○</td><td></td></tr></table> <p>(効果の計算根拠を記載してください。)</p>		①技術の詳細	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div>	○○	○○	○○	○○	②導入効果		○○		○○		①技術の詳細	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div>	○○	○○	○○	○○	②導入効果		○○		○○	
①技術の詳細	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div>																								
○○																									
○○																									
○○																									
○○																									
②導入効果																									
○○																									
○○																									
①技術の詳細	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">技術の概要</div>																								
○○																									
○○																									
○○																									
○○																									
②導入効果																									
○○																									
○○																									

エネルギー消費削減量の計算書【空気集熱式太陽熱利用システムを導入する場合】

住宅の名称	○○●●	採用するシステムの概要を記載																			
採用する空気集熱式太陽熱利用システムの概要について、該当する欄に記載してください。 ※本様式は算定要素としています。 採用する省エネ手法から数値を求めて転記		空気集熱式太陽熱利用システムの概要 地域区分 6 傾斜角 4寸勾配 方位角 真南から東西へ10°未満 集熱面積 透過体を持つ集熱部 11.60 m <sup>2</sup> A <sub>G</sub> 透過体のない集熱部 14.40 m <sup>2</sup> A <sub>S</sub> 集熱部面積計 18.80 m <sup>2</sup> A=A <sub>G</sub> +(A <sub>S</sub> ÷2) 採用する省エネ手法 <input type="checkbox"/> 手法1(太陽熱を暖房のみに利用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法2(太陽熱を暖房と給湯に利用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法3(システム駆動専用の太陽光発電の採用) <input checked="" type="checkbox"/> 手法4(24時間換気との連動) 暖房方式 <input type="checkbox"/> 住宅全体を暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房																			
●手法1を採用する場合 (①、②)の計算値を記載) ① 住宅全体を暖房 ⇒ 早見表1-1 ↳ 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房 ⇒ 早見表1-2 ② 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 ↳ 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-3 ※①は暖房方式に応じて早見表が異なります。 ※③、④には「0」を記載してください。		早見表によるエネルギー消費量等(早見表1-1～1-6から算出) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計算値</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量</td> <td>98 MJ/年m<sup>2</sup></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量</td> <td>0 MJ/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量</td> <td>324 MJ/年m<sup>2</sup></td> <td>E<sub>HW-R</sub></td> </tr> <tr> <td>④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量</td> <td>0 MJ/年</td> <td>E<sub>HW-system</sub></td> </tr> <tr> <td>⑤ 換気エネルギー削減量の削減率</td> <td>0.330</td> <td>R<sub>V</sub></td> </tr> </tbody> </table> 採用する手法に応じて、早見表の値を転記		項目	計算値	記号	① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量	98 MJ/年m <sup>2</sup>		② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年		③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量	324 MJ/年m <sup>2</sup>	E <sub>HW-R</sub>	④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年	E <sub>HW-system</sub>	⑤ 換気エネルギー削減量の削減率	0.330	R <sub>V</sub>
項目	計算値	記号																			
① 集熱部単位面積あたりの暖房エネルギー削減量	98 MJ/年m <sup>2</sup>																				
② 空気搬送に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年																				
③ 集熱部単位面積あたりの給湯エネルギー削減量	324 MJ/年m <sup>2</sup>	E <sub>HW-R</sub>																			
④ 給湯用採熱に要するシステムの一次エネルギー消費量	0 MJ/年	E <sub>HW-system</sub>																			
⑤ 換気エネルギー削減量の削減率	0.330	R <sub>V</sub>																			
●手法2を採用する場合 (①、②、③、④)の計算値を記載) ① 住宅全体を暖房 ⇒ 早見表1-1 ↳ 「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房 ⇒ 早見表1-2 ② 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 ↳ 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-3 ③ ⇒ 早見表1-4 ④ 手法3を採用する ⇒ 「0」を記載 ↳ 手法3を採用しない ⇒ 早見表1-5 ※①は暖房方式に応じて早見表が異なります。		省エネ基準一次エネルギー消費量算定方法による計算結果 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>計算値</th> <th>記号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑥ 換気エネルギー消費量(注)</td> <td>3,228 MJ/年</td> <td>E<sub>V</sub></td> </tr> </tbody> </table> (注)設計一次エネルギー消費量の「換気設備の一次エネルギー消費量」を記載してください。		項目	計算値	記号	⑥ 換気エネルギー消費量(注)	3,228 MJ/年	E <sub>V</sub>												
項目	計算値	記号																			
⑥ 換気エネルギー消費量(注)	3,228 MJ/年	E <sub>V</sub>																			
●手法4を採用する場合 (⑤、⑥)の計算値を記載) ⑤ 手法4を採用する ⇒ 早見表1-6 ↳ 手法4を採用しない ⇒ 「0」を記載 ※手法4を採用しない場合には、⑥にも「0」を記載してください。		省エネ基準一次エネルギー消費量計算結果を転記																			
※上表を入力すると自動で計算されますので、入力は不要です。 ※ピンク色の欄の数値を別添様式2の⑥に転記してください。																					
1) 空気集熱式太陽熱利用システムによるエネルギー消費削減量(省エネ量)																					
(E <sub>H-R</sub> )	(A)	(E <sub>H-system</sub> )																			
( 98 ) × ( 18.8 ) - ( 0 ) +																					
(E <sub>HW-R</sub> )	(A)	(E <sub>HW-system</sub> )																			
( 324 ) × ( 18.8 ) - ( 0 ) +																					
(E <sub>V</sub> )	(R <sub>V</sub> )																				
( 3,228 ) × ( 0.330 )																					
	(S <sub>B</sub> )																				
	= 8,999 [MJ/年]																				
	⇒別添様式2の⑥に転記																				

採用する手法別の計算方法に関する注意事項

計算方法に関する注意事項

別添様式2の該当欄に結果を転記

**添付資料 4-1 とともに、使用する早見表のみ添付**

(添付資料4-2)

**早見表1-2 集熱部の単位面積あたりの暖房一次エネルギーの削減量  
【「主たる居室」と「その他の居室」の両方あるいはいずれかを暖房する場合】**

- ※ 使用する早見表を添付資料4-1と合わせて提出してください。  
その際、該当する値のセルの色を変更する、「○」をつけるなど、転記した値がわかるように明示してください。
- ※ 使用する早見表のみ添付してください。使用していない早見表の添付は不要です。

**転記に関する  
注意事項**

**6地域 集熱部の単位面積あたりの暖房一次エネルギー削減量[MJ/年・㎡]**

各居室を間欠して暖房する場合		傾斜角							
		3寸勾配	4寸勾配	5寸勾配	6寸勾配	7寸勾配	8寸勾配	9寸勾配	10寸勾配
方位角	真南から西へ70° 以上、70° 未満	70°	21.80	26.57°	30.96°	34.99°	38.66°	41.99°	45.00°
		72	78	83	87	89	91	91	92
	真南から西へ50° 以上、70° 未満	95	103	110	114	117	119	121	121
	真南から西へ30° 以上、50° 未満	100	109				126	127	128
	真南から西へ10° 以上、30° 未満	97	105				122	123	123
	真南から東西へ10° 未満	90	98	104	109	112	114	115	115
	真南から東へ10° 以上、30° 未満	85	92	98	102	105	107	108	108
	真南から東へ30° 以上、50° 未満	80	87	92	96	98	100	101	101
	真南から東へ50° 以上、70° 未満	73	79	84	87	90	91	92	93
真南から東へ70° 以上、90° 未満	58	63	67	70	72	73	74	74	

該当する地域を選択し、方位角・傾斜角から値を選択

該当する値を明示して早見表を添付